

「釣りキチ三平」、「マタギ」、「おらが村」

大いなる自然と野性をダイナミックかつ緻密に描き、  
惜しまれながら2020年に逝去した  
唯一無二のマンガ家・矢口高雄の画業を、  
貴重な原画とともに振り返る回顧展

※原画約140点を4期にわけて展示。ほか制作道具、関連映像など

全期 10/14(金) - 2023/2/13(月)  
※12/9(金)に展示替



「平成版 釣りキチ三平」2004年 © 矢口プロ  
(10/14(金) - 12/5(月) 展示)

### 1 模索の時代

期 10/14(金) - 11/7(月)



「泣くな! ケン」原作: きだい三郎 1972年 © 矢口プロ  
(1期展示)

### 2 独創の時代

期 11/11(金) - 12/5(月)



「マタギ」1975年 © 矢口プロ  
(2期展示)

### 3 矢口高雄の肖像

期 12/9(金) - 2023/1/16(月)



「おーい!! 山びこ」ボクの手塚治虫 1989年 © 矢口プロ  
(3期展示)

### 4 ふるさと

期 2023/1/20(金) - 2/13(月)



「鳥海初冠雪」1997年 © 矢口プロ  
(4期展示)

※2階閲覧室で、矢口高雄の著作や関連資料を読むことができます。  
2階利用は有料です(要身分証提示・会員登録 1日会員 330円~)

※本展示に関する新しい情報は、展示HPや当館ツイッター等にて  
随時お知らせいたします。

#### 矢口高雄 プロフィール

やぐち・たかお

1939年10月28日、秋田県西成瀬村(現・横手市)生まれ。本名高橋高雄。高校卒業後、羽後銀行(現・北都銀行)に入行。69年『月刊漫画ガロ』に「長持唄考」が掲載されデビュー。70年に銀行を退職、上京し、本格的に作家活動を開始。73年には「幻の怪蛇バチヘビ」「釣りキチ三平」が話題を呼び、74年にこの二作で講談社出版文化賞児童まんが部門受賞。76年には「マタギ」で第5回日本漫画家協会賞大賞を受賞。90年代以降、横手市増田まんが美術館の設立に尽力し、名誉館長を務める。2020年11月20日に逝去。



2020年撮影  
横手市  
増田まんが美術館  
提供



# 矢口高雄展

夢を見て  
描き続けて



明治大学 米沢嘉博記念図書館・現代マンガ図書館 1階

〒101-8301 東京都千代田区神田猿楽町1-7-1 TEL: 03-3296-4554

※特別整理などで休館する場合があります。また、感染症対策などにより公開状況が変更する場合がございます。

当館HP、もしくは開館日に電話にてご確認ください。

[https://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa\\_lib/exh-yaguchi.html](https://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa_lib/exh-yaguchi.html)

